



上北だより

295号
平成27年1月8日
練馬区立上石神井北小学校
校長 市川 順康

「2015年から2020年へ」

校長 市川 順康

新しい年を迎えるにあたり、皆様の弥栄（いやさか）を心からお祈り申し上げます。

「一年の計は、元旦にあり」その年一年の計画は、元旦にしっかり考える人が多いと思います。また、2020年に東京オリンピックが開催されることになり、その年の計画だけでなく、5年後のことについて、いろいろな話題が多くなりました。私は、東京オリンピックを実際には知らない世代なので、その盛り上がり様子は、想像することしかできません。いろいろな映像や資料を見たり、調べたりしても、その熱気はいまひとつ伝わってこない、だから、いまの段階では、1964年の東京オリンピックも、2020年の東京オリンピックも、「想像」という点では同じです。実際には、すでに5年後のことを計画しながら、プロジェクトは進められています。つまり、開催に向けて、実際にいろいろなことが「想像」ではなく「現実」のものになってきています。「来年のことを考えるなんて鬼が笑うよ」ではないですが、それが、5年後となると、さらに長期的な計画をしっかり立てることが必要です。いろいろなことを長期的に考える視野をもつことは、大人にとっても、この、あまりにも忙しい生活の中では難しいことです。ましてや、小学生の子どもたちで、5年後のことを考えるとと言われても、さらにピンとこないかもしれません。ただ、紆余曲折を経て、オリンピックの開催が決定したとき、日本中の人が、2020年のことを想像したと思います。その想像の中には、日本という国が、今より少しでも進歩し、自信をもって、外国の皆さんを迎えることができる国になってほしいという願い、そして決意が含まれていたと思います。オリンピック出場に向けて、夢や希望を追い続け、努力している人がいます。おもてなしの心を自分の仕事に生かしていこうとしている人もいます。ボランティアのために、語学の学習に力を入れている学生も多いそうです。また、パラリンピックにも目を向けると、バリアフリーの社会を目指し、力を尽くしている人もいます。どの立場の人も、今までとちょっと違う、1年後ではない、5年後を、道しるべの一つとして使っている人が多くなっているのではないのでしょうか。

上北小は、2020年までに、創立55周年のお祝い、また、オリンピックが終わった次の年の2021年に、60周年のお祝いの年があります。上北小の歴史を刻みながら成長している子どもたちと共に、私たち大人も5年先のことを、ただ想像するだけでなく、子供たちのために時代を創造し、力を尽くしていくことが大切です。今年度も、保護者、地域の皆様のご支援、ご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

1月の行事予定

- | | |
|--|---------------------|
| 8日（木）給食開始・6時間授業 | 21日（水）道徳地区公開講座（5校時） |
| 10日（土）もちつき大会<6年> | 22日（木）避難訓練 地域巡り<3年> |
| 13日（火）発育測定<6年> | 23日（金）社会科見学<5年> |
| 14日（水）4時間授業（みつば学級以外）
発育測定<5年・みつば> | 26日（月）クラブ |
| 15日（木）発育測定<4年> | 29日（木）お話の会<1年> |
| 16日（金）発育測定<2年>5時間授業 | 30日（金）4時間授業 |
| 19日（月）発育測定<3年>委員会活動
校内書き初め展・読書旬間始
お話の会<2年・みつば> | |
| 20日（火）発育測定<1年> | |

***連合図工展** 17日（土）～22日（木）
（19日は休館日）

***連合書写展** 24日（土）・25日（日）

※いずれも練馬区立美術館にて開催されます。